

### 第73回秋季東北地区高等学校野球秋田県大会を振り返って

会長 尾形徳昭

今大会は、能代松陽高校の2年ぶり6回目の優勝で幕を閉じた。これまで同様、新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限の注意を払いながら、無観客での実施となったが、秋田テレビさんの御厚意により、こまちスタジアムの試合に限っては、インターネットでライブ配信された。視聴者数はかなりの数に上ったと伺っている。本当にありがたいことであった。

東北大会に出場する3チームを中心に大会を振り返ってみると、優勝した能代松陽高校の実力は、現在のところは他のチームに比べ、頭一つリードしている感があった。シートノックを見たが、基本に忠実な点が、練習量の多さを物語っていた上、丁寧さと自信が感じられた。エースの三浦君のほか、実力が拮抗している投手が森岡君と森田君の2人がいて、失点は4試合でわずかに3である。閉会のあいさつで話したことだが、守りから攻撃のリズムを作ることがしっかりできているチームであった。

10年前の第93回夏の甲子園大会。保坂投手を擁する当時の能代商業高校（能代松陽高校の前身）は、1回戦で鹿児島県の神村学園に逆転勝ち（秋田県勢14年ぶりの初戦突破で、前年は同じ鹿児島県の鹿児島実業に0-15で大敗、悔しい思いをしていた）、2回戦は香川県の英明高校にワンチャンスを生かして2-0の完封勝ち（英明高校のエースはこの年ドラフト1位でジャイアンツへ）、3回戦は広島県の如水館高校と対戦し、延長12回の激闘の末、2-3×でサヨナラ負けした。

決勝戦前日、閉会のあいさつを考えていた時、10年前のこの3試合の様子が頭に浮かんできた。素晴らしい3試合であった。この年の夏の甲子園大会で一番感動的な試合をしたチームは、間違いなく能代商業高校だと思っている。能代商業高校は、この年、国体にも選ばれている。タイプは違うが、力強さは当時のチームに似ている感じがした。

準優勝の大館桂桜高校。昨年はベスト4止まりであったが、今年は見事決勝戦まで勝ち進んだ。決勝戦こそ持ち前の打撃力は影を潜めたが、それまでの3試合では22得点と、かなりの数字を残してきた。これは立派である。試合前の練習でロングティーを行っていたが、ミートポイントとボールのとらえ方、インパクトの力強さが印象的であった。強打を裏付ける一端を見たような気がした。

そしてなんといっても印象的だったのは3回戦の秋田高校戦であった。試合途中から雨が降り出し、両チームの選手とも、ぬかるむグラウンドと滑るボールやバットの対応に苦慮しながらも、よく戦ってくれた。最後は、初回のリードが最後まで効いて、桂桜高校が逃げ切った。雨で滑るボールでも、ストライクを投げなければいけない投手の、追い詰められたような緊張感が両投手から伝わってきて、胸が痛かった。こうした緊張感を経験した両チームの投手陣に、技術面、精神面での大きな成長を期待している。

第3代表となった大曲工業高校は、実力は先の2チームに引けをとらない。初戦の金足農業高校戦は、エース長淵君の好投で相手打線を3安打に抑えて完封勝ち。続く3回戦の大曲農業高校戦も相手に得点を与えず、7回コールドで勝ち上がった。投手は背番号6の石山伶偉君であったが、制球力のいい投手であった。選手層が厚く、一人一人に力がある。

準決勝の大館桂桜高校戦は、点数を取りあうシーソーゲームとなったが、やや打力の上

回る桂桜高校に軍配が上がった。両エースもよく投げた。けれども両エースとも甘く入ったところを痛打されている。今後の課題となったところである。

第3代表決定戦は、前日の試合内容が勝敗を分けた感がある。大曲工業は接戦の末、あと一步のところまで涙をのんだが、大館鳳鳴は7回コールドゲームで零封されている。両者とも東北大会出場の最後の切符をめざして試合に臨んだが、勢いに差があった。3回に5点、5回に2点と大量リードの大曲工業に対して、大館鳳鳴高校は5回に相手投手の乱れに乗じて4点を返すのが精一杯だった。大曲工業もこの試合は投手陣の乱れが目立ってしまった。10月20日から始まる東北大会にはまだ日があるので、調整をお願いしたい。

大会全体を通してみると、新人チームであることからまだまだ粗削りの部分が大きかったように思える。しかし、将来の大器を彷彿させる魅力的な選手もいてなかなか見応えがあった。加盟校の40校はシーズンオフを迎えることとなったが、来春に目標を切り替えて日々精進していただきたい。

一方、宮城県で開催されることになった第74回秋季東北地区高等学校野球大会に、秋田県代表として出場する3校には、是非ともセンバツの切符を手にしてもらいたい。組み合わせも決まった。一段とテンションも上がっていることであろう。活躍を大いに期待して、大変遅くなってしまいましたが、秋季県大会を終えてのあいさつとします。

2021.10.15